

母子相姦ファンタジー

勇者の仲間だった母さんと
夢中で中出しセックスした





◇プロフィール◇

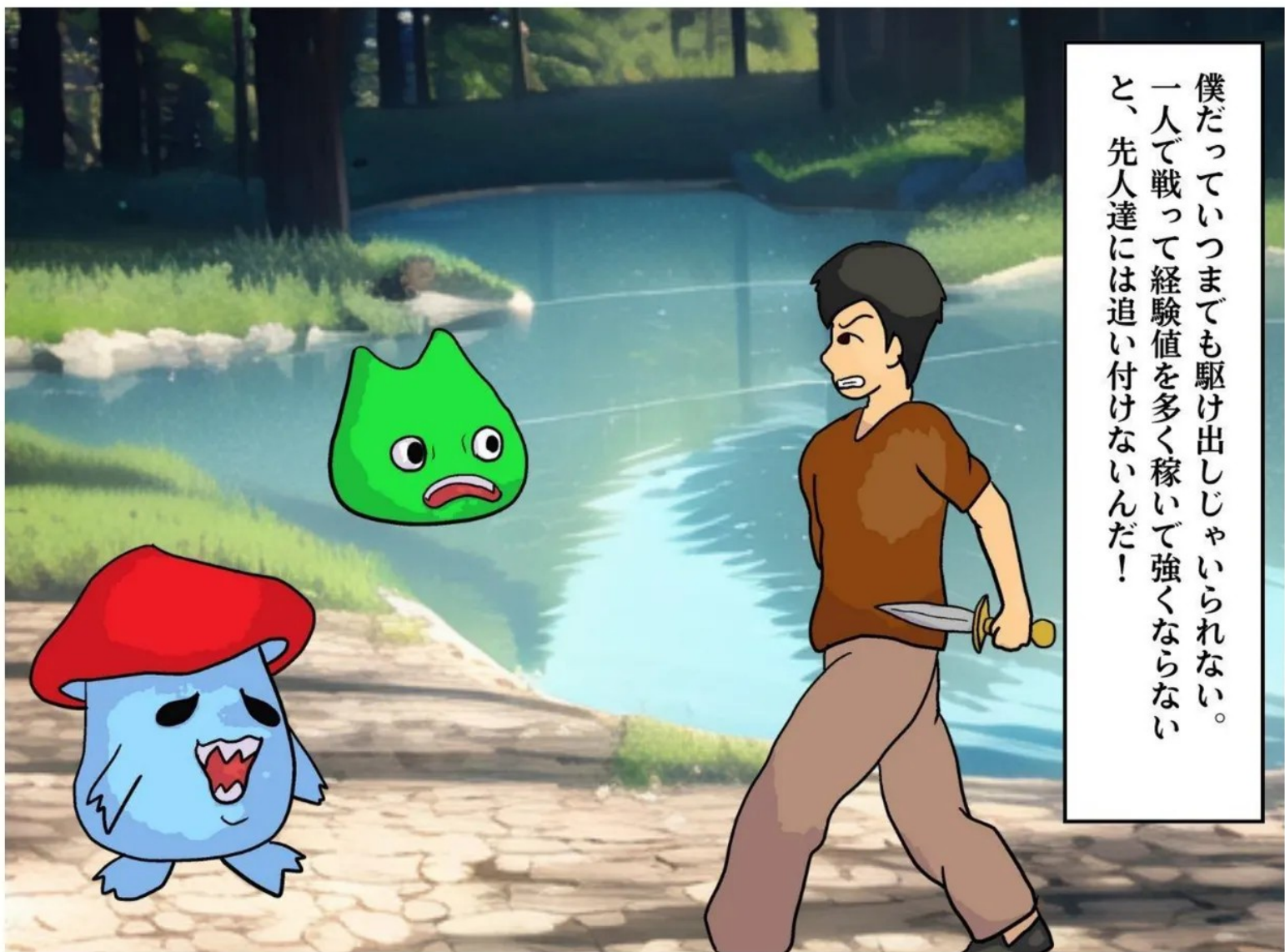
名前	アリサ・アイヒロート
年齢	47歳
職業	戦士、王国名誉騎士
家族	一人息子
戦歴	伝説の勇者の仲間

数十年前に魔王ギズベルトを倒した伝説の勇者のパーティだった女戦士。
魔王討伐後の現在は息子と二人で辺境を旅しながら、はぐれモンスターや魔王軍の生き残りを狩ることを生業としている。

僕の名前はエド・アイヒロート。
まだ駆け出しの冒険者だけれど、一人前の戦士を
目指して日々鍛錬に励んでいる。
今日は立ち寄った村で近くの森にモンスターが沸
いているという相談を受けてここに来た。
同行者には内緒でこっそりと・・




僕だっていつまでも駆け出しじゃいられない。
一人で戦って経験値を多く稼いで強くならない
と、先人達には追い付けないんだ！



いい加減に倒れろっ
どりゃあああああっ
!!


ドスッ...



A man with short black hair, wearing a brown t-shirt, is shown from the chest up. He has a surprised expression with wide eyes and a slightly open mouth. The background is dark and textured.

ずいぶんと調子がいいな。
嬉しいことでもあったの
か？坊主？

久々のレベルアップ
だからね！
……って、誰？




じゃあ、早速オレと戦って
試してみるか？負けたら
喰われちまうがな！

あ・・・
あああ・・・

人型で会話の出来るモンスターは
3桁に近いレベルの場合が多い。
だ、だめだ・・・僕の冒険はここで
終わりに・・・

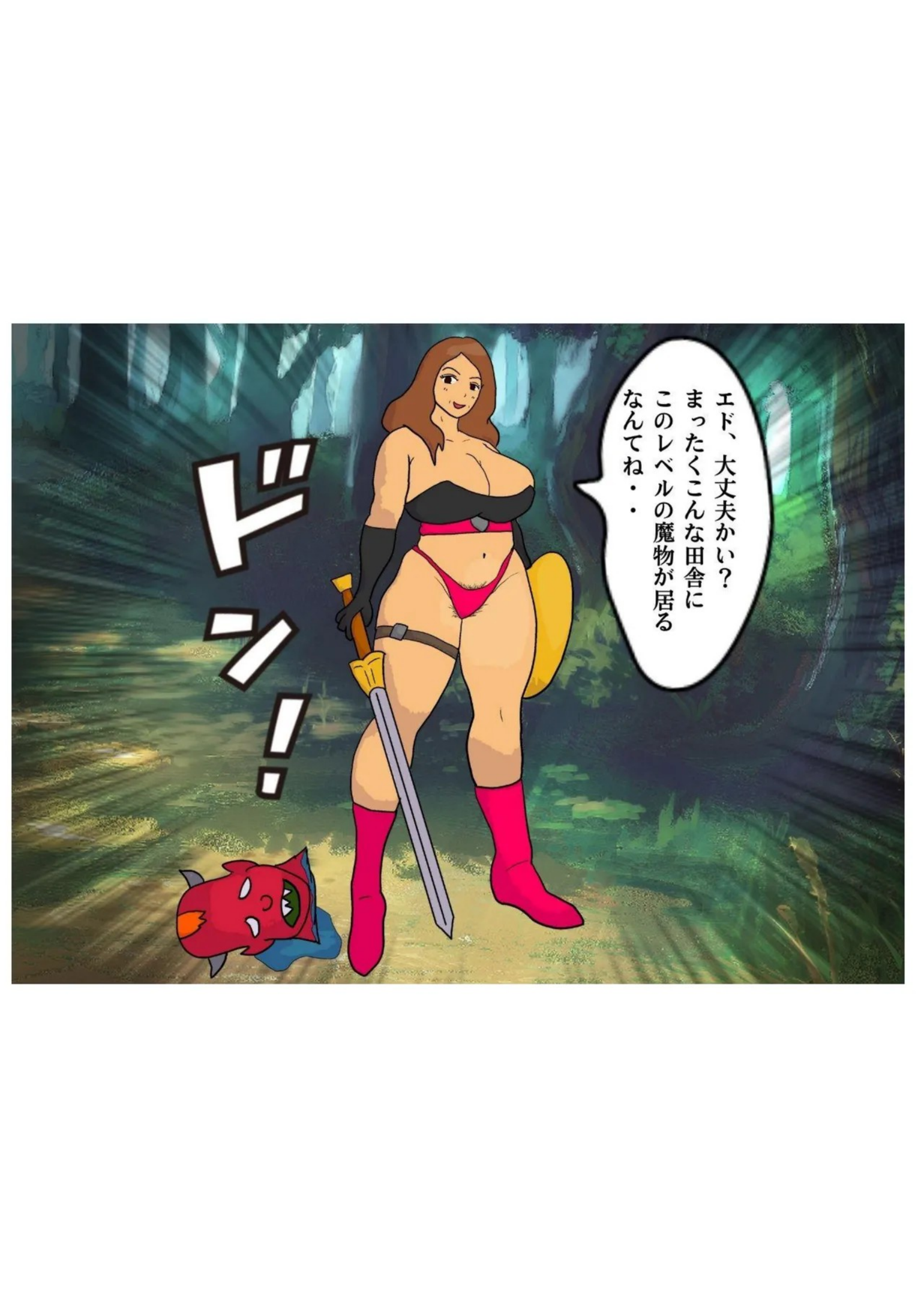
ううううう・・・
ああああああ!!





しかし、いつまで待っても死を
覚悟した僕にモンスターへの攻撃
が降りかかることは無かった・

ん・・・あ、あれ？
ど、どうして・・・？



エド、大丈夫かい？
まったくこんな田舎に
このレベルの魔物が居る
なんてね・・・

ド
ン
!



怖かったろう？
だから一人で出歩いたら
駄目だって言ったのに。

あ、ああ・・・うん。
ご、ごめんよ。
・・・母さん。

そう、僕の母さんはアリサ・アイヒロート。
かつて世界を闇に染めた魔王を倒した勇者の仲間
だった女戦士だ。



母さんは世界でも有名な英雄の一人。
僕が成長を焦る理由であり大きなコンプレックスの
元になっているんだ。

こうして辺境の魔物を倒す旅を
続けている僕たち親子。
母さんはどこでもその勇名に恥
じない成果をあげている。

あはは、いいんだよ。
お礼なんて。あたしは
これしか出来ないからさ。



アリサ様の息子さん？
お母上に劣らずさぞ、
お強いんでしょうなあ


ああ、ははっ。
ま、まあ・・・

そして僕はといえど何処に
行っても過剰な期待を受け
て居心地が悪い思いをして
いる・・・。

最近ダメだわあゝ・・・
動きも鈍ってきたし本気
出すとすぐ疲れちゃう。


ふーっ





だ、だって僕・
いつまでも足手まとい
で情けなくて・・

ねえ、エド。今日のこと。
あなた、何をそんなに焦って
いるの・・？



ふふふっ、馬鹿ねえ。あなたは
このアリサの息子だよ？
焦らなくなったっていつかは絶対に
立派な戦士になるんだから。
心配なんかしなくて良いの！

僕が失敗するたびに優しく慰めてくれる母さんの優しさ。これに甘えてたらいけないと余計に僕はいつも焦ってしまっただも・・・焦っている理由はそれだけじゃなくて・・・

ね、分かった？
じゃあ母さん汗流してくるから・・・反省してなさいよ？



そのもう1つの焦っている
理由のせいで・・・
僕はこうして母さんが余計
に悲しむようなことを・・・



ああ・母さん・母さん。
なんて綺麗な身体なんだ。
こんなに美しいのにあんな
に強いなんて完璧すぎる。



僕は母さんが好きだ。
母親としてだけじゃなく・・・
この女性を僕だけのものにしたい。
異常かも知れないけど本心なんだ。
だから母さんに劣らないよう強くなりたい。



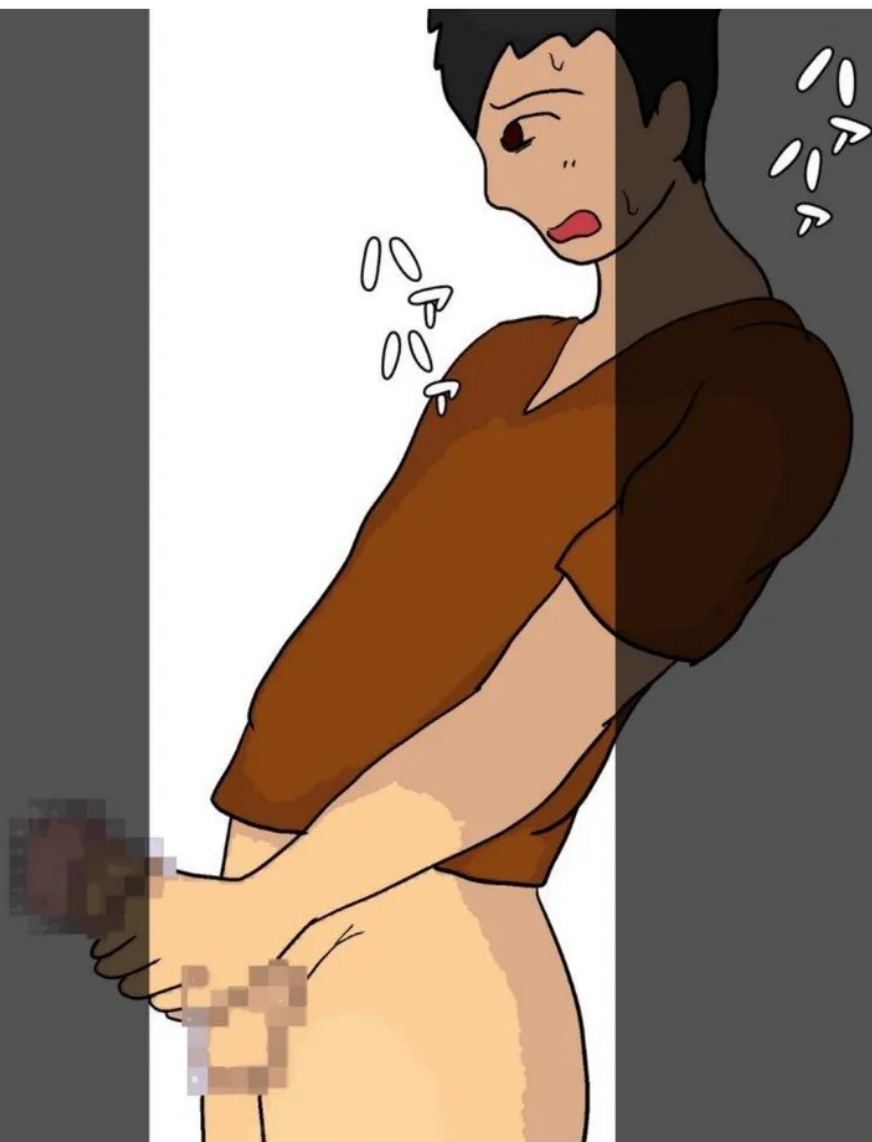
ふうく・・やっぱりお風呂の
ある宿は良いわねえ・・。
アーマー着ると蒸れちゃう
もの。


プーンッ

プーンッ




こうしてチャンスがあれば
母さんの裸を覗いたり下着
を悪戯したり・・・
もう僕は母さんに夢中なんだ！




A woman with long brown hair and large, prominent buttocks is shown from the back, sitting on a stone path in a hot spring. She is looking over her shoulder with a slight smile. The background features a wooden wall, green bushes, and a stream of water. A speech bubble is positioned to her left.

ふああゝ、気持ち
良かった♪
・・・あ。




やだ・・あの子また覗いてる。
どういいうつもりなのかしら・・。
こういうの苦手なんだけど、一度
話した方が良いかもね・・



エド。ちょっと聞きたい
ことがあるの。いい？

あ、ああ、うん。
な、なになかな？




あ、あのね・・・
あなたいつも・・・

アタシのお風呂を覗いてる
でしよう? どうして?
母親のそんなところを見て
何考えてるのかなって・・・




え・・・ええ!?
ど、どうしてそれを!?

い、いや、そうじゃ
なくて・・・!
その、違うんだ!




う、うん。分かった。
嫌われるかも知れないけど
正直に言うよ・・・。

ねえ、母さん心配なだけなの。
怒らないから正直に言って。



僕さ・・母さんが好きなんだ。
母親としてじゃなくて・・
その・・ほ・・本気で・・

は?・・え?
えええ!?




あ、あの・・・それって・・・
母さんを女として見てるって
ことよね？は、裸を・・・
そ、そういう目で見てたの？

うん・・・そういう目で見てた。
母さんを見てるとどうしよう
もないんだ・・・
こ、ここもこうなっちゃって・・・

あ、ああ・・・エ、エド・・・
あなた、す、凄いのね。
いつの間にそんな・・・

ずいっ



も、もうやだぁ・・♡
そんなの見せられたら弱く
なっちゃうじゃないの・・
ひ、久しぶりに見るしい・・

ピクッ

ピクッ



か、母さん!?
うわあああっ!!

ん♡
ん♡
ん♡
ん♡
ん♡

ん♡
♡
!!

じゅ
る
り



うふふっ・・すごおい♡
母さんが啜えただけで・・
こんなに精液出しちゃってえ



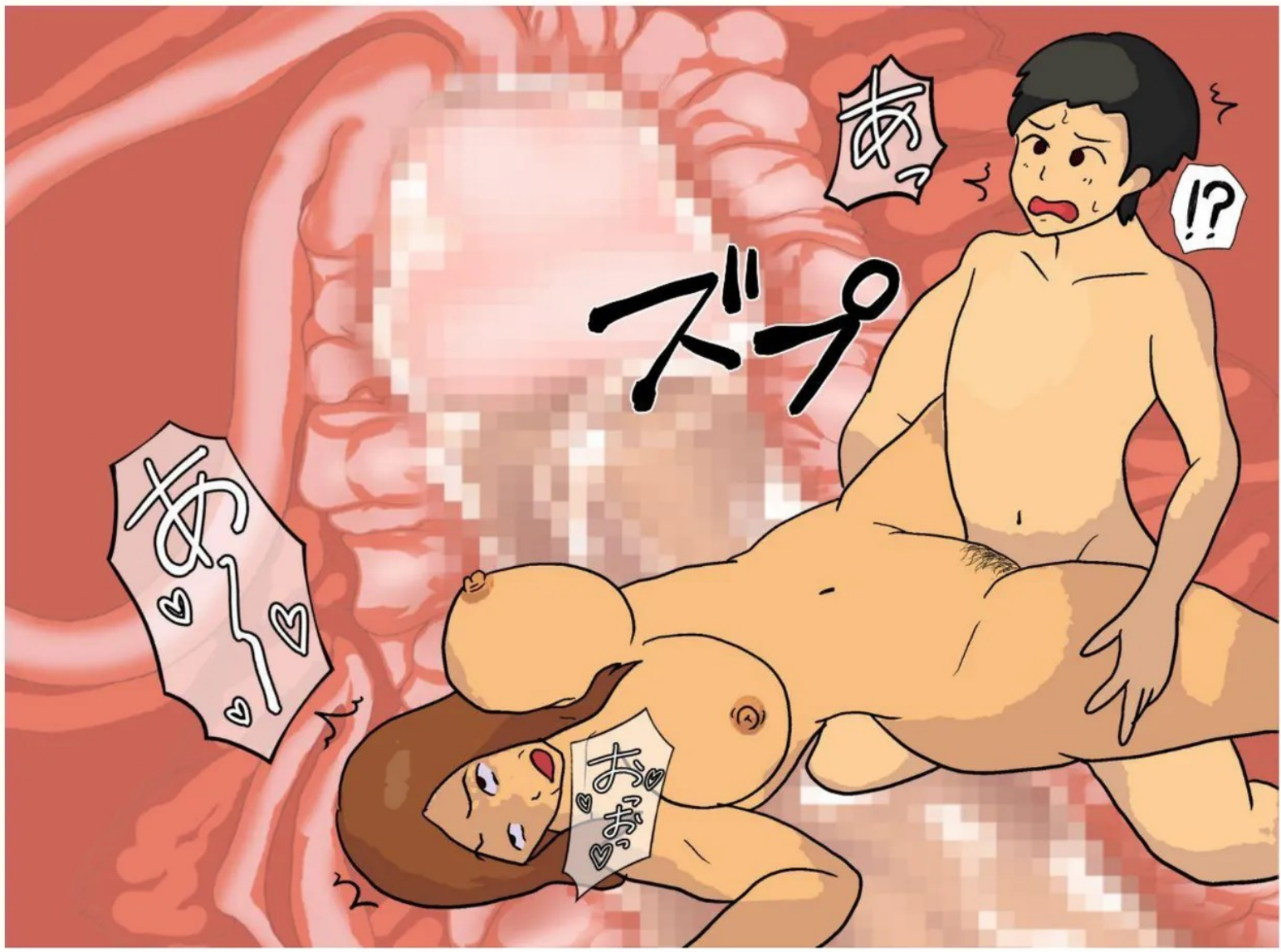
エド・・今まで悩ませて
ごめんね・・。
これからは悩まなくて
いいのよお。

ハアアア

え・・。
か、母さん・・

さあ、エド・男らしく
いらっしやいッ♡
母さんをあなたのモノに
したいならソレで戦うのよお






エドは レベル28に あがった!

え・レ、レベルが・
こんなに大幅に、な、
なんてっ?


ぽんぽかぽ
ぽんぽかぽ
ぽんぽかぽ





ふふふっ、当たり前じゃない。
女が子宮に精液流し込まれるって
完全に負けちゃったってことよ？
このアリサ・アイヒロートを倒した
んだもの。そりゃ強くなるわ。

か、母さんの膣内に出すと..
強く..なるんだ..。



さあ、母さんより強くなるんでしょ!?!
もっと母さんを犯して強くなりなさい♡

愛する母さんと繋がるだけで
幸せなのに、それで強くなれるなんて・・・。
僕はその日から昼も夜も夢中で
母さんと交わった。
しっかりとその子宮に精を
放って・・・

母さんとの行為に溺れれば溺れるほど、
驚くべきスピードで僕は強くなった。
今ではこのエリアの戦士の中ではランク
1位のレベルとなりアリサの息子として
誇れる実力と名声を手に入れたんだ。



僕がこのエリアで一番と言ったけれど、それは本当に一番が引退したからというちよっとカッコ悪い秘密もある。そう、本当の一番である母さんは僕の子を妊娠してしまったからだ。母さんの伝説を継いで、僕は妻になった母さんと生まれてくる子を守っていく。



FIN